

事務事業評価シート

事業種別	継続	単独	事業類型	I	ソフト事業	1次評価のみ対象分
------	----	----	------	---	-------	-----------

事業名	コード	名称	区分	コード	名称	
664.5		同和問題啓発事業	会計	01	一般会計	
基本施策	38	互いを認め合い、すべての人の人権を尊重する	款	10	教育費	
			項	05	社会教育費	
			目	05	同和教育費	
施策	2	人権・同和教育の充実	細目	101	同和問題啓発事業	
			細々目	01	同和問題啓発事業	
基本計画該当頁	147	担当部課	コード	450400	評価者氏名	福本 敏彦
行革大綱の重点事項番号			名称	教育委員会阿山公民館	連絡先	43 - 0154 (内線)

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何が、誰が)	成果(どうなるのか)
	阿山地区住民 (※対象件数)	自分の心の中を見つめ直す機会として、「あやま人権・同和問題学習講座」を開催することにより、阿山地区住民の人権意識の向上に貢献できる。
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等
事業内容	「あやま人権・同和問題学習講座」を4回開催	状況変化等 「あやま人権・同和問題学習講座」への参加者は、17年度に設立された阿山人権同和教育研究協議会に依頼し、相互の連携を図っている。
		人権教育及び人権啓発の推進に関する法律

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	()
2 配置(予定)人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	各地区の公民館

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H18	H19	H20	H21
あやま人権・同和問題学習講座の開催	回	目標	4	目標	4
		実績	4	実績	4
		目標		目標	
		実績		実績	
		目標		目標	
		実績		実績	
		目標		目標	
		実績		実績	

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H18	H19	H20	H21
参加延べ人数	「あやま人権・同和問題学習講座」への参加者の総数を事業成果とみなし設定する。	人	目標 600 実績 469	目標 600 実績 616	600	600
			目標 実績	目標 実績		

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	差別事象・事件がある限り、行政の責務として人権啓発を継続しなければならない。
有効性	4	開催回数を重ねることにより、着実に人権啓発の向上が図れる。
達成度	4	目標値を達成できたが、参加者の固定化が見られる。
効率性	4	4回の講座のうち、1回をあやまづくり市民会議と共催することにより、経費の削減が図れた。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	あらゆる差別をなくすため、講演ジャンルが偏らないよう配慮する。

進捗状況	年度	平成18年度 決算内容				平成19年度 決算内容				平成20年度 計画内容				平成21年度 計画内容			
		事業内容	数量	単位	金額												
委託	事業内容	講師謝金			(千円) 120	講師謝金			(千円) 190	講師謝金			(千円) 320	講師謝金			(千円) 320
		需用費			37	需用費			11	需用費			41	需用費			41
工事	事業内容					講演委託料			130								
		事業費計(A)		Σ	157	事業費計(A)		Σ	331	事業費計(A)		Σ	361	事業費計(A)		Σ	361
進捗率(%)																	
事業投入人員		人件費(B)	0.2	人	1,440	人件費(B)	0.2	人	1,440	人件費(B)	0.1	人	720	人件費(B)	0.1	人	720
フルコスト (A)+(B)					1,597				1,771				1,081				1,081

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A)	事業費	157	331	361	361
Aの財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	受益者負担				
	その他				
	一般財源	157	331	361	361
	計	157	331	361	361
備考	特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等				